

群馬県商店街振興組合連合会 研修会



清水 則子氏

小熊 憲之氏

笑顔から生まれる個店力

2月19日、前橋市・桑町会館において、女性部研修会を開催した。講師は、フェイスストレッチング協会エグゼクティブディレクター・清水則子氏。

清水氏は「人が他人に与える第一印象の50%以上が、顔・見た目などの視覚情報で構成されているが、意識的に顔を動かしている人は少ない。日常生活だけでは、顔の下にある表情筋が衰え、表情の硬さや笑顔のぎこちなさを引き起こしてしまう。そのため『フェイスストレッチング』で、表情筋を鍛える必要がある」と説明。

次いで「フェイスストレッチング」の具体的な方法について解説し、受講者は鏡を見ながら実践。最後に「『フェイスストレッチング』で表情の幅を広げ、良い笑顔でお客様とコミュニケーションをとってもらいたい」と締めくくった。

商品価値を高めるSNS活用法

2月26日、沼田市・ホテルペラヴィータにおいて、組合員講習会を開催した。講師は、おぐま式P

OP塾代表・小熊憲之氏。

小熊氏は「情報発信に速さが求められる現代において、SNSにはリアルタイムで双方向のコミュニケーションができるという強みがある。ツイッター・フェイスブックなど数あるSNSの中からどれを使うかは、ターゲットとする年齢層を考えて選択することが必要である」と説明。

次いで「SNSでは文章だけでなく、写真を併せて発信することができる。この写真が正しく撮れていないがために、情報が正確に伝わらず、トラブルの原因となることもある。そのため、写真の正しい撮り方を学ぶことが重要となる」と解説。その後、受講者が実際にスマートフォンのカメラを用いて、撮影の実践を行った。

「観光まちづくり」の視点で 取組む商店街の活性化

3月6日、桐生市・桐生商工会議所会館において、組合員講習会を開催した。講師は、まちとひと感動のデザイン研究所代表・藤田とし子氏。

藤田氏は、商店街でのイベント開催について「単発的な集客に留

まりがちで、個店の売上にはつながっていない。イベントは情報発信の大きな機会であり、これにより商店街のファンを作ることがゴールである」と説明。

次いで「現代は『誰もが行くような特別な場所での経験』よりも、『その地域ならではの経験』を求める傾向がある。実際に桐生の街を歩いてみると、専門店や古い建物が多くあり、十分に魅力があると感じた。これらの要素を磨くことで、居心地の良い空間を創出していつて欲しい」と締めくくった。



藤田 とし子氏